

別表1 おいしい水の要件

水質項目	要件値	内 容
蒸発残留物	30～200mg/L	量が多いと苦味・渋味等が増し、適度に含まれるとコクのあるまろやかな味となる。
硬度	10～100mg/L	カルシウム・マグネシウムの含有量を示し、硬度の低い水はケセがなく、高いと好き嫌いが出る。
遊離炭酸	3～30mg/L	水に爽やかな味を与えるが、多いと刺激が強くなる。
過マンガン酸 カリウム消費量	3mg/L 以下	不純物や過去の汚染の指標であり、量が多いと水の味を損なう。
臭気度	3 以下	水源の状況によりいろいろな臭いがつくと不快な味がする。
残留塩素	0.4mg/L 以下	水にカルキ臭を与え、濃度が高いと水の味を悪くする。
水温	最高20℃以下	水温が高くなるとおいしくないと感じる。冷やすことでおいしく感じる。

厚生省(現厚生労働省)おいしい水研究会による「おいしい水の要件」(1985 年)より